

46期生 進路通信

茨木市立北中学校

2021年2月19日

大学入試制度

最近、「高校進学したら大学に行きたい」という声を多く聞いています。高校入学後のことを考えていて、率直にすごいと思います。大学は高校と違い、学部がたくさんあります。理工学部、教育学部、医学部、経済学部など。高校時代に自分に合う学部を見つけられるといいですね。今回は、みんながあまり知らない大学入試について書きたいと思います。大学入試には大きく分けて3つの選抜方法があります。

学校推薦型（基本は年内）

①指定校推薦

大学が特定の高校を指定して実施する入試方式です。自分の在籍する高校が指定校になっていなければ受験できない。校内選考（高校）が行われ、合格率は高い。募集人数は少ない。書類審査や面接で合否が判定されます。自分の希望の大学、学部がない場合もあります。→先生自身は、指定校の中に「数学・医療系の学部」がなかったので応募しませんでした。

②公募制推薦

大学ごとの出願資格を満たして、出身高校の校長から推薦された生徒（校内の推薦基準がある場合も）が受験可能な入試方式です。スポーツや文化活動おける実績などが評価される場合もあります。→先生はこれで受験をしました。学力検査はなく書類審査、面接、小論文でした。

総合型選抜（基本は年内）

学校長の推薦は基本的には不要で、「その大学でこんなことを学びたい」という意欲や入学後の目標が重視される入試方式です。エントリーシートなどの受験生からの提出書類、面接、小論文、プレゼンなどを課し、受験生の能力や適性などを評価します。

一般選抜型（1月～3月）

基本は学力試験です。私立大学は受験科目が少ない傾向にあります。国公立大学の場合は1月にある共通テスト（7科目以上の受験が基本）を受験します。その結果をふまえて、2月にある2次試験（個別学力検査）を受験し合否が決まります。